



平成24年2月14日

各位

会社名 花王株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員
尾崎元規
(コード番号 4452 東証第一部)

花王インドネシア化学、新工場を建設

ー 需要拡大に対応し、界面活性剤の生産能力を1.5倍に増強 ー

花王株式会社（社長・尾崎元規）は、このたび、アジア地域を中心とした工業用製品に対する需要の増加に対応するため、花王インドネシア化学の新工場をジャカルタ郊外のカラワン工業団地に建設し、あわせて製造設備を増強することをお知らせします。敷地面積は現工場の2倍となる約12万平方メートルとなります。新工場は、2012年2月に着工、2013年1月から順次稼働開始予定です。

今回の増設計画では、主要生産品である界面活性剤の生産設備を新設し、現工場から移設する既存設備とあわせて、界面活性剤の年産能力を現在の約1.5倍に増強します。新工場では、化粧品などの原料に使用する界面活性剤や産業用化学製品を製造します。初期総投資額は40億円超を見込んでいます。また、新工場においても、省エネや環境に配慮し、ガス・コージェネレーションシステム*を導入するなどCO₂排出量削減を進めます。なお、ジャカルタ郊外タンブンにある現工場は、2014年12月末までに移転を完了し、新工場へ統合する予定です。

現在、花王インドネシア化学で製造している工業用製品は、アジア経済の成長に伴い、インドネシア国内・輸出向けとも需要が伸長しています。化粧品分野を含む産業用の化学製品の需要は、さらなる拡大が見込まれる一方、現工場はフル稼働に近い状況にあり、現有敷地では将来の規模拡大に限界があることから、生産拠点の移転を決めたものです。建設地については、立地条件や各種インフラ環境が良好なことなどから、カラワン工業団地に決定しました。将来的にはさらなる設備の増設・拡張も視野に入れています。

花王インドネシア化学は、新工場建設により、アジア市場への界面活性剤の供給拠点としての機能の強化・拡充をはかり、各種産業用の化学製品の増産体制を整えることで、成長市場でのケミカル事業のさらなる拡大に努めてまいります。

*ガス・コージェネレーションシステム

天然ガスを利用した自家発電装置と、その排熱を有効利用した環境配慮型の電気・熱エネルギー供給システム

【花王インドネシア化学 概況】

社 名：花王インドネシア化学（英語名：PT. Kao Indonesia Chemicals）

設 立 年：1977 年

代 表 者：社長 西尾 英之

出資比率：花王株式会社 95%、その他 5%

事業内容：各種界面活性剤、産業用薬剤の製造販売

以 上

本件についてのお問い合わせ先：

花王株式会社 広報部 電話 03-3660-7041～7042